

ごあいさつ

令和6年は、能登半島地震で幕が開け、多くの被災した方々が今も苦しんでいます。しかし、私たちは幾多の災害に遭おうとも乗り越えてまいりました。その重要な鍵が「絆」であることはご周知の通りです。その絆が、一本よりは二本、二本より三本と太く、あらゆる方向に幾重にも張り巡らされることで大切で、子どもたちを守り育てることも同じだと思えます。家庭、学校、地域で、皆様と共に、青少年健全育成を通じた絆作りを努力してまいりますので、引き続きのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。



会長就任にあたって

日立市青少年育成推進会議
会長 志摩 邦雄

この度、日立市青少年育成推進会議会長を拝命しました志摩邦雄でございます。これまで当推進会議では、副会長として企画委員会に携わってまいりました。

そもそも青少年の健全育成活動にご縁をいただいたのは、小学校のPTA活動がきっかけでした。当推進会議とは、日立市立小・中学校PTA連合会から派遣されたのが始まりです。市P連卒業後には、嶋崎敏元会長からのご推挙で、副会長として茨城県青少年育成協会の理事を務めてまいりました。この間、これまで長きに渡って青少年育成活動にご尽力いただいています学区コミュニティの皆様、BBSやボーイ・ガールスカウトの指導者、保護司会や更生保護女性会の皆様、校長会等教育関係の皆様方とご一緒することで、子どもたちをサポートし育成する環境が、皆様の献身的なご努力で成り立っていると実感しました。同時に、大人が集まり課題を出し合ったり、解決策を模索したり、悩みを共有する場が必要だとの思いも新たにしました。当推進会議が、関係団体の皆様の想いを共有できる場になればと考えております。



日立市の
青少年育成市民運動

第52号

■発行 者/日立市青少年育成推進会議
 ■発行 日/令和6年3月
 ■事務 局/日立市生活環境部女性若者支援課
 茨城県日立市幸町1-21-1
 日立シビックセンター 6階
 TEL 0294(26)0315
 FAX 0294(26)0317
 E-mail jousei@city.hitachi.lg.jp



『インターネット、SNSを利用する時のルール設定』周知活動

スマートフォンなどインターネットに接続できる機器は、私たちの身の回りに多くあります。調べごとや情報の収集、メッセージなどの連絡手段として、とても重宝しています。その反面、使い過ぎによって起こる弊害もあります。学習時間や睡眠時間を減らしてまで使用する「スマホ依存症」やスマホの使い過ぎによって首・肩こり、眼精疲労、脳疲労等が生じる「スマートフォン症候群」などの症状が発生しているそうです。

推進会議では、小学1年生を対象にインターネットを利用する際のルールを家族で考え、記入できる「イン

ターネットを利用する時のわが家のルール」(チラシ)を配布しています。また、中学1年生が掲げた目標を記入することが

できる「下敷き」を配布しています。どちらにもインターネットやSNSの利用方法などの注意

点や、悩みごとなどを抱えた際の相談窓口を記載していますので、安全にスマートフォンな

どを利用するためのツールとして活用して

もらいたいです。

子どもの相談窓口
誰かに話す元気になるよ！

日立市青少年育成推進会議
 児童相談所
 26-7890
 26-4320
 1330-1113

下敷き 裏

わたしのインターネット・ルールづくり

インターネットは便利で楽しいものです。便利な反面、わたしたちがスマホに耽溺したり、ネット被害に巻き込まれる危険なものもあります。ネット被害を防ぐには、ルールブックを作ることが大切です。

日立市・日立市青少年育成推進会議

下敷き 表

インターネットを利用する時のわが家のルール

インターネットは便利で楽しいものです。便利な反面、わたしたちがスマホに耽溺したり、ネット被害に巻き込まれる危険なものもあります。ネット被害を防ぐには、ルールブックを作ることが大切です。

日立市・日立市青少年育成推進会議

チラシ

第18回 ひたち郷土かるた大会



「ひたち郷土かるた大会」は、市の歴史や文化・名所などを題材に制作された「ひたち郷土かるた」を通じて、郷土愛を育むとともに家族や友人などと交流を深めてもらうと、日立市青少年育成推進会議と市内5つのロータリークラブが開催しているもので、令和6年1月6日(土)に第18回目を開催しました。競技は、3人以内のチーム戦で取り札の数を競い合う対戦形式で、トーナメント戦が行われました。今回参加した20チーム54名は、真剣にかるたを取り合い、優勝を目指して熱戦を繰り広げた結果、「かるた三人衆」チームが優勝を果たしました。

《第18回ひたち郷土かるた大会結果》

順位	チーム名
優勝	かるた三人衆
準優勝	日立しか勝たん
3位	つめたい雪
3位	まつぼっくり



ひたち郷土かるた 発展のための寄附

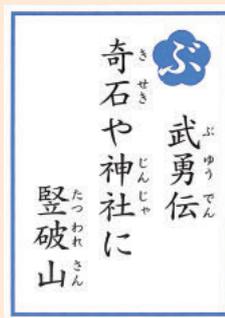


日立中央ロータリークラブ様から「ひたち郷土かるたの発展に使用してもらいたい」と、エクササイズマットの寄附がありました。

当推進会議では、かるた大会に必要な、かるたの取り札、かるたの読み札、かるた板、エクササイズマットの貸出を行っています。貸出をご希望の方は、事務局(0294-26-0315)までご連絡ください。

かるたの紹介

ぶ ぶゆうでん 武勇伝 きせき じんじや 奇石や神社に たつわれさん 堅破山



たつわれさん ひたちし ほくせいあん いち ひょうこう
 堅破山は日立市の北西端に位置する、標高六五八・三メートルの日立市で一番高い山です。山頂には茨城県名起源説話に登場する黒坂命をまつった黒前神社があり、その周辺には八幡太郎義家が太刀で割ったとされる太刀割石や船石・甲石・胎内石・畳石・烏帽子石・不動石が散在します。これらの石は山中の滝とともに、徳川光圀(水戸黄門)が「三滝七奇石」として選定したといわれています。また山頂には、幹周り三メートル弱の巨樹を含むブナの自然林が広がります。

令和5年度

青少年健全育成のための市民の集い

令和6年2月18日(日)、日立シビックセンター音楽ホールにおいて、「青少年健全育成のための市民の集い」を開催しました。

表彰式では、日立市青少年育成推進会議会長表彰として、「善行青少年」、「少年の主張・体験文」、「家庭の日絵画・ポスター」、「万引き防止標語」で優秀な成績を取めた児童生徒を、日立市教育委員会教育長表彰として、「学習・文化」、「スポーツ」の部門で活躍や功績が認められた児童生徒を表彰しました。

表彰式終了後には、「少年の主張・体験文」の小学生の部、中学生の部における最優秀賞受賞者の作文朗読や「学習・文化部門」の表彰者における自由研究の発表を行い、約420名の来場者から盛大な拍手が送られました。

また、会場には、「家庭の日絵画・ポスター」作品や「万引き防止標語」のポスターを展示し、日頃、児童生徒が取り組んでいる活動の成果を発表する良い機会とすることができました。

これからも青少年が健やかに成長できるよう、皆様と協力して様々な事業に取り組んでいきたいと思ひます。



万引き防止標語

《小学生の部》

- 最優秀賞 宮田小学校 5年 山形 海風
- 優秀賞 宮田小学校 5年 三浦 快
- 優秀賞 豊浦小学校 5年 沼田 彩晴
- 優良賞 豊浦小学校 5年 松尾 貴悠
- 優良賞 山部小学校 4年 柴田 奈々

《中学生の部》

- 最優秀賞 助川中学校 1年 飯野 航平
- 優秀賞 助川中学校 3年 岩田 悠里
- 優秀賞 助川中学校 1年 幸田 弥空
- 優良賞 助川中学校 2年 高根澤 彩
- 優良賞 駒王中学校 3年 長山 琴音



家庭の日絵画・ポスター

《小学生の部》

- 最優秀賞 日高小学校 6年 黒澤 一花
- 優秀賞 大みか小学校 4年 山路理紗子
- 優秀賞 塙山小学校 3年 中島 航希
- 優良賞 会瀬小学校 2年 松本佳奈子
- 優良賞 大みか小学校 3年 津野田結菜

《中学生の部》

- 最優秀賞 泉丘中学校 2年 鹿内 恵
- 優秀賞 豊浦中学校 1年 井上 香音
- 優秀賞 中里小中学校 8年 倉繁 知歩
- 優良賞 泉丘中学校 2年 池田 潤哉
- 優良賞 泉丘中学校 2年 小貫百々香



少年の主張・体験文

《小学生の部》

- 最優秀賞 豊浦小学校 1年 芳賀 健人
- 優秀賞 成沢小学校 6年 長谷川明佳
- 優秀賞 諏訪小学校 5年 今橋 海人
- 優秀賞 日高小学校 6年 加古瑠莉那
- 優秀賞 日高小学校 6年 柴田 真帆
- 優良賞 諏訪小学校 4年 高橋 湊
- 優良賞 大沼小学校 2年 山田 愛佳
- 優良賞 塙山小学校 2年 須藤 結楓

《中学生の部》

- 最優秀賞 豊浦中学校 3年 鈴木 結香
- 優秀賞 泉丘中学校 3年 長山 楓
- 優秀賞 日高中学校 3年 木内 愛菜
- 優良賞 日高中学校 3年 星野 弦光
- 優良賞 豊浦中学校 3年 齋藤 花音

善行青少年表彰

《人助け》

- 大沼小学校 5年 大高 結和 立花来留美 田部華笑乃
- 金沢小学校 6年 大森 みる 金塚 琳香 武部 志保
- 4年 金塚穂乃花
- 平沼中学校 3年 生田目晃成
- 2年 長谷川 諒
- 多賀中学校 3年 木下 空良
- 十王中学校 3年 入江 優衣 及川 芽泉

《地域貢献》

助川中学校生徒会

《緊急時貢献》

- 多賀中学校 3年 小川 眺永
- 台原中学校 3年 鴨志田真吾 中村日向凜 山口 莉緒
- 明秀学園日立高等学校

最優秀作品紹介 《小学生の部》

少年の主張・体験文

ぼくのつう学ろ

豊浦小学校 一年 芳賀 健人

ぼくはこのはる、小学一年生になった。あたらしいもだちができて、まい日たのしく学校にかよっている。ぼくには大すぎなばしよがある。それは、つう学ろだ。

まいあさ、いえを出てあるき出すと、ここやおばちゃん、

「おはよう。きょうも学校、がんばってね。」と、こえをかけてくれる。おばちゃんのおを見ると、ぼくはげん気がわいてくる。

しゅうごうばしよでは、上きゅう生が、とおりすぎるちいきの人たちにあいさつをする。ぼくもまねしてあいさつを試みたら、とっても気持ちよかった。

みんながそろると、ぼくたちのはんはれつになつてあるき出す。雨の日も、あつ日も、たくさんのちいきの人がそとに出てきて、「おはよう。いつてらっしゃい。」

ぼくは入学したばかりのとき、ランドセルがおもくて、あるくのが大へんだつた。一生けんめいあるいたけれど、はやくすすめなかつた。でも、ふくはんちようさんは、なんどもうしろをふりむきながら、ぼくにあわせであるいてくれた。はんちようさんも、「あせらず、ゆっくりあるいていいよ。」とニコニコしながらいつてくれた。

ちいきの人たちと、はんのみんなのおかげで、ぼくはあんしんして学校にいけるんだ。かえりみち。車がたくさんとおるこうさてんには、ボランティアのおじさんたちが立つ

ている。大雨でもかならず立つていて、どうるをわたるのをたすけてくれる。だれかがあるないことをすると、きちんとしてかつてくれる。かつこいいな、といつもおもう。

いえのそばまできた。おちあきようしつのごふうふ、きせつの花をくれるおじさんおばさん、パンポンがすぎなおじさんたちが、「おかえり。がんばったね。」

いえのまえでは、おかあさんがまわっている。ぼくははしつて、おかあさんにとびつく。

「ぼく、きょうもがんばつてきたよ。」

ぼくのつう学ろには、たくさんの人とのつながりや、きずながある。たくさんの人に見まもられ、やさしいことばをかけてもらえ、あるいているとあたたかい気持ちになれる。そんなつう学ろが、ぼくは大すぎだ。

じぶんからげん気にあいさつをする。たすけてもらつたらおれいという。ぼくは、つう学ろをささえてくれる人たちのために、小さなことでもかんがえて、こうどうしていきたい。そして、まい日かんしやをしながらあるきたい。そうしたら、みんなのきずながふかまつて、もつとすてきなつう学ろになるとおもう。

すてきなつう学ろがどんどんひろがつて、いつか日立中の子どもたちが、じぶんのつう学ろを大すぎになれるといいなあ。



万引き防止標語



「その君 必ずだれかが 見ているよ」
宮田小学校 5年 山形 海風

家庭の日絵画・ポスター



「家族でキャンプ」
日高小学校 6年 黒澤 一花

最優秀作品紹介 《中学生の部》

少年の主張・体験文

見えないSOS

豊浦中学校 三年 鈴木 結香

「水中で泣いている人の涙に気付ける人になりなさい。」

これは、私が大切にしている言葉です。教育虐待のニュースを目にしたとき、私は真つ先にこの言葉を思い浮かべました。教育虐待は「虐待」とありますが、子どもを叩いたり、蹴つたりするわけではありません。教育を理由に無理難題を押しつける心理的な虐待です。そのため、不自然なげがや発育の遅れが見られない分、違和感に気付きにくいのが特徴なのだと思えます。

私は今年、受験生です。約半年後に控える入試に向けて、親と相談し、自分の学力に合った高校に合格できるよう、努力しています。苦手な教科があり、親からは塾に通う提案を受けましたが、私の意思により、現在塾には通っていません。それでも、両親共に、私の考えを尊重し、見守ってくれています。しかし、教育虐待をする親は、子どもをモノとしてとらえ、自分の自己満足のために支配をしているように思えます。一方、子どもはとうとう、どれだけ酷いことをされても親を信じ、ついていくしかないのです。この状態が依存関係をつくり上げ、事件を引き起こしている現実には、胸が締めつけられるような気持ちになりました。子どもは親の所有物ではありません。自分とは別の人間であることを理解し、正しい教育をしてほしいです。

私の母は、小さい頃に父親を早くに亡くして母子家庭で育ちました。生活苦の為、親から「死のう」と持ちかけられたこともあったそうです。どうしても死にたくなかった中学生の母は、担任の先生にSOSをしました。

ものすごく勇気のいることだったと話します。そのSOSをきちんと受け取ってくれた先生のおかげで、当時は乗り越えることができたそうです。

「死んでしまったら全てが終わり。」

何十年も経った今、「自分の家族ができて、子ども達に出会えて幸せだよ。本当に生きていて良かった。」と、笑顔で思い出話を語ってくれます。母の話聞き、どれだけ幸せな家庭でも、当たり前の日常が一変するのをきつかけに、突然虐待が始まる可能性があることに気付きました。また、それに伴って、誰もが被害者にも加害者にもなりうるという意識を持つべきだと考えます。それぞれの家庭には公にしたいくない事情もあると思いますが、SOSを発信しないことには、状況は変わりません。自分の命を一番に思い、誰かに助けを求める勇気を持つてほしいと思います。

その上で、生きづらさを抱える全ての人を受け入れる社会づくりが必要だと考えました。時折、相談ホットラインのチラシが学校で配布されますが、私でさえも身近な印象を持つことができません。苦しい悩みを抱える人にとつて、近い存在の人に話を聞いてもらうことが、一番の支えになるのではないのでしょうか。相談に乗る人の向き合い方と正しい対応で、自分自身が窓口になることができはるはず。もしも虐待のサインを受け取ったら、適切な支援に繋ぐための通告を、ためらわないでほしいと思います。

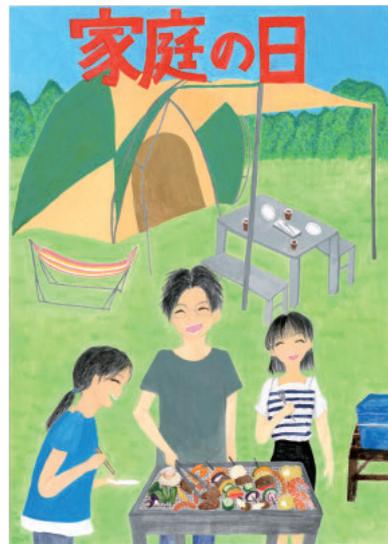
この作文を書くに当たって、自分なりにあらゆる虐待について調べました。しかし、私は当事者ではありません。実際に経験した方の気持ちの全てを理解するのは難しく、そこで負った心の傷は計り知れないものだと感じています。でも、微力ながらも悩んでいる人の力になれることは必ずあると信じています。私は、SOSを待つのではなく、自らアテナを張って生きる、水中の涙に気付ける人になりたいです。

万引き防止標語



「その行動 悲しむ人が いませんか」
助川中学校 1年 飯野 航平

家庭の日絵画・ポスター



「今日はいつもより特別な日」
泉丘中学校 2年 鹿内 恵

【家庭教育部会】

各地域で開催している親子教室の事業実施の参考とするため、家庭教育部会の推進員を対象に研修会を実施しました。今回は管理栄養士の半澤氏とくじ保育園の園長である滝先生を講師にお招きし、講話と工作を行いました。

また、子育て支援啓発冊子「それでいいよ だいじょうぶ」を母子健康手帳と共に配布し、子育ての不安や悩みを和らげる取組を行っています。

今後も、子育て世代にとっての身近なテーマを考えながら、親子が明るく過ごせるよう、健全な家庭環境づくりを推進していきます。

研修会の様子



令和5年10月17日(火)

講話 「未就学における食育について」

工作 「ロケットパラシュート」

それでいいよ だいじょうぶ



【地域活動部会】

地域活動部会では、地域の子どもは地域が育てる「地域親」を推進するため、地域が取り組む野外活動等の支援を行っています。

また、地域の青少年育成活動について情報の共有化を図るため、「地域親」活動事例発表を YouTube 配信し、令和5年12月5日(火)に意見交換会を行いました。今回は宮田学区コミュニティ推進会、諏訪学区コミュニティ推進会、久慈学区コミュニティ推進会がそれぞれ令和4年度に行った事業を発表しました。



宮田学区コミュニティ推進会



諏訪学区コミュニティ推進会



久慈学区コミュニティ推進会

「親子教室」、「地域親」の活動に参加を希望される方は、お住まいの地域の交流センターへお問合せください。

【環境浄化部会】

環境浄化部会では、各種イベントで、啓発活動を行っています。

薬物乱用防止 「ダメ。ゼッタイ。」運動

現在、テレビなどのメディアを通じて、覚せい剤や大麻、危険ドラッグといった「薬物」がもたらす事件や犯罪を多く目にします。

薬物が引き起こす身体への悪影響を理解してもらうため、またインターネットを介して興味本位に購入することのないよう、「市民生活安全フェスティバル」や「茨城キリスト教学園文化祭」で、啓発物を配布しながら呼びかけました。



市民生活安全フェスティバル



茨城キリスト教学園文化祭

「青少年の深夜外出制限」 キャンペーン

青少年の深夜外出は、悪い誘惑や犯罪被害にあうなど大変危険なことで、「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」において、青少年の深夜（午後11時から翌日午前4時まで）の外出を制限しています。深夜外出の制限を周知するため、「日立港まつり」、「河原子花火大会」で啓発活動を行いました。



日立港まつり



河原子花火大会

県北地区青少年育成市町民会議連絡会

県北地区青少年育成市町民会議連絡会は、北茨城市、高萩市、常陸太田市、大子町、日立市で構成され、情報交換会や研修を行い、広域的な青少年育成活動の充実を図るために活動しています。

令和5・6年度は日立市が事務局を任されており、令和5年11月14(火)に日立市役所で研修会を開催しました。午前中は学校子ども会特別委員会の中村氏からご講演いただき、午後にかみね動物園の「がおーこく」を中心に施設を見学しました。

研修会

- ・ 講演
演題 「助川小・学校子ども会について
—子ども会の再生、そして学校と地域の連携—」
講師 日立市助川学区コミュニティ推進会 青少年育成部
学校子ども会特別委員会 中村 雅利 氏
- ・ 活動状況報告
- ・ 施設見学（かみね動物園）



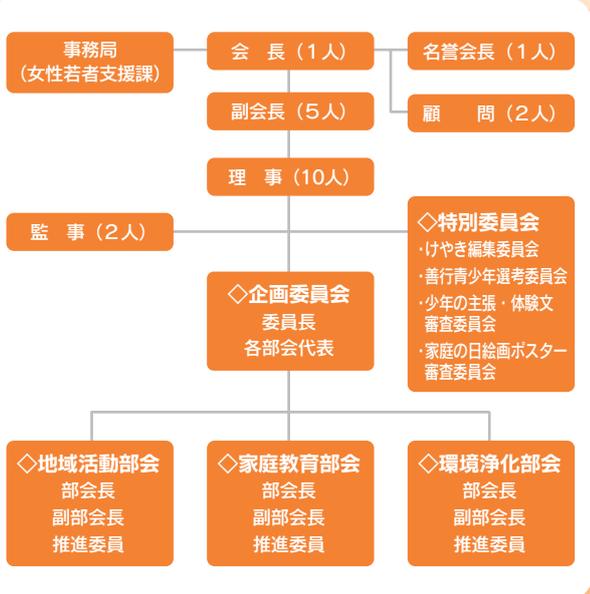
日立市青少年育成推進会議



はじめり・・・

- ・昭和56年に日立市内の青少年育成団体が連携協力して、有害図書自動販売機の撤去運動に成功したことをきっかけに設立しました。
- 「できることからすくやろう」が合言葉
- ・官民一体の構成団体(58団体)を主体として、市民総ぐるみで青少年育成活動及び非行防止運動に取り組んでいます。

組織図



推進委員 196名(令和5年度) 延べ人数

構成団体 令和5年度日立市青少年育成推進会議構成団体一覧表

- | | |
|------------------|----------------------|
| 日立市コミュニティ推進協議会 | 日立地区セーフティ・マイ・タウンチーム |
| 十王地区青少年育成協議会 | 一般社団法人 日立青年会議所 |
| 豊浦地区青少年育成協議会 | ボーイスカウト日立地区協議会 |
| 日高学区市民自治会 | ガールスカウト日立クラブ |
| 田尻学区コミュニティ推進会 | 日立ロータリークラブ |
| 滑川学区コミュニティ推進会 | 日立南ロータリークラブ |
| 宮田学区コミュニティ推進会 | 日立港ロータリークラブ |
| 中里学区コミュニティ推進会 | 日立北ロータリークラブ |
| 仲町学区コミュニティ推進会 | 日立中央ロータリークラブ |
| 中小路学区コミュニティ推進会 | 日立ライオンズクラブ |
| 助川学区コミュニティ推進会 | 日立中央ライオンズクラブ |
| 会瀬学区コミュニティ推進会 | 日立桜ライオンズクラブ |
| 成沢学区青少年育成推進会 | 日立きららライオンズクラブ |
| 油縄学区コミュニティ推進会 | 日立ブーケライオンズクラブ |
| 諏訪学区コミュニティ推進会 | 日立市スポーツ少年団本部 |
| 大久保学区コミュニティ推進会 | 日立市子ども会育成連合会 |
| 河原子学区青少年育成推進会議 | 日立市青少年相談員連絡協議会 |
| 塙山学区住みよいまちをつくる会 | 日立市連合民生委員児童委員協議会 |
| 金沢学区コミュニティ推進会 | 日立市立小・中学校PTA連合会 |
| 大沼学区コミュニティ推進会 | 日立市学校長会 |
| 水木学区コミュニティ推進会 | 日立地区学校警察連絡協議会 |
| 大みか学区コミュニティ推進会 | 日立市教育研究会生徒指導部(小・中学校) |
| 久慈学区コミュニティ推進会 | 日立警察署生活安全課 |
| 坂下地区青少年健全育成会 | 茨城県日立児童相談所 |
| 日立地区保護司会 | 日立保健所 |
| 日立市更生保護女性会 | 日立市子ども施設課 |
| 日立地区BBS会 | 日立市健康づくり推進課 |
| 日立市人権擁護委員会 | 日立市教育委員会学務課 |
| 茨城県日立地区少年指導委員連絡会 | 日立市教育委員会指導課 |

第3日曜日は 家庭の日です

家庭の日には・・・

- ◎家族で話し合しましょう!
- ◎家族で食事をしましょう!
- ◎家族で地域との交流を深めましょう!
- ◎家族で文化・スポーツを楽しみましょう!

日立市青少年育成推進会議では、「家庭の日」を推進し、家族みんなの心が通う、明るい家庭づくりに取り組んでいます。



大人のマナーアップ運動

「一大人が変われば、子どもも変わる」推進中



スマホを閉じて子どもに目を向ける
大人の笑顔をつくれる大人になる
子どもも変わる

地域の大人や親一人ひとり、自身身を省みて青少年の手本になるよう心掛ける運動を推進しています。

《令和5年度 法人・団体賛助会員》

青少年の健全育成活動にご賛同いただき、ありがとうございます。

- ・日立市建設業協会
- ・日立製建設協力会
- ・いばらき印刷(株)
- ・鈴縫工業(株)
- ・深谷木材工業(株)
- ・(株)オカベ
- ・日和サービス(株) (順不同)



編集委員
大友剛志
金丸友世
木村善子
坪井善吉
安井善子